

佛教大学広報誌

B-ism

佛教大学

NO.24

B-ism

No.24

発行日
2022年(令和4年)7月20日

発行者
伊藤 真宏

編集者
広報委員会

編集・発行
佛教大学広報課

〒603-8301 京都市北区紫野北花ノ坊町96
TEL 075-491-2141(代表)
www.bukkyo-u.ac.jp/

撮影場所 佛教大学附属幼稚園

巻頭特集 | スペシャル鼎談
2 幼児教育のプロフェッショナルをめざす

仏教学部 仏教学科
三好 俊徳 准教授

15 Listen UP OB-OG 訪問
高知県立坂本馬場記念館 学芸課長
前田 由紀枝さん

6 「授業参観」教員・研究紹介
中国学科編 文学部 中国学科
楊 韜 准教授

12 クラブ・サークル見聞録
特別篇 Special

軟式野球部

16 hot TOPICS 大学の動向

8 学生編集室の窓
佛大生記者が書く！

13 Favorite 「先生のお気に入り」
中西さやか准教授

社会福祉学部 社会福祉学科
「お灸」

21 BOOK Information 教員著書紹介

「就職活動への意識が変わる」
「一般インターンシップ研修！」

14 輝き Close Up 活躍する学生たち

22 B-Information みんなの掲示板

幼児教育のプロフェッショナルをめざす

教育学部幼児教育学科 教授
幼児教育学科長
佛教大学附属幼稚園 園長
教育学部幼児教育学科 教授
佛教大学附属幼稚園 副園長
教育学部幼児教育学科 教授
佛教大学附属幼稚園 副園長

佐藤 和順 柏 まり 村上 真理子
|| 司会進行

教育学部に今年度、幼児教育学科が設置された。50年を超える歴史がある教育学科の幼児教育コースを、時代のニーズに合わせ発展的に独立させたものだ。目指すのは「幼児教育のプロフェッショナル」養成。幼児教育学科の佐藤和順教授、柏まり教授、附属幼稚園の村上真理子副園長に新学科設置の意味や、果たすべき役割について語っていただいた。

幼児教育のプロ養成で時代のニーズに応える

佐藤和順（以下、佐藤）
幼児教育学科が開設された意味をどう考えますか。
柏まり（以下、柏）もとも

と日本は集団育児の社会でした。しかし核家族化でその文化が崩れ、育児は母親の仕事だと紐づけられてしまった。お母さんが家庭の中で孤立し、育児ストレスや育児不安を一人で抱え込み、コロナ禍の影響もあつ

て児童虐待などにつながってしまふ。一方で、保育現場には保育士不足や待機児童の問題がある。乳幼児期からの子どもたちを教育する場を、社会全体が必要としています。

近は共働き世帯が急増し、また家庭同士のつながりが希薄化し、子育て支援の必要性を強く感じます。昔ながら地域社会の中で遊びながら学んだことも、幼稚園という集団の中で経験しています。うれしいことばかりじゃなくて、「うまくいかないな。困ったな」という思いも糧にしながら、人と関わり合う力を身につけてほしいと思います。

佛教大学は教育学科に幼児教育コースがあったのですが、幼児教育に強い専門職養成という長年の悲願として幼児教育学科が独立しました。現場で活躍している先輩方がたくさんおいでになり、そういう方の力も借りながら、現場に強い保育者を養成していくのが目標です。

佐藤 ● 子どもの育ちの環境が変わったという指摘がありました。最前線です。うお感じですか？

村上真理子（以下、村上）
社会情勢の変化やコロナ禍もあって人と交わる経験が少ないと感じます。私が附属幼稚園に勤め始めたころは専業主婦の家庭が多かったように思います。最

保育の仕事の社会的地位がなかなか上がらない要因として、「女性なら子育てできるでしょ」という社会風潮がありました。今後は専門性を明確にする必要





柏 まり(かしわ まり) ● 岡山県立大学大学院保健福祉学研究所博士後期課程修了。幼稚園及び保育所での経験を経て、中村学園大学人間発達学部助手、湊川短期大学幼児教育保育学科准教授、就実大学教育学部准教授、岡山県立大学保健福祉学部教授を経て、2021年から佛教大学教育学部教授。幼稚園・保育所・認定こども園におけるフィールドワークを中心に、幼児期における人間関係の研究、幼児期の規範意識、幼稚園教育課程及び保育計画の編成、保育内容の充実及び保育者の専門性・資質の向上に関する実践学的アプローチ、男女共同参画社会実現のための子育て支援に関するプロジェクトについて研究している。



B-ism

2022 July



佐藤 和順(さとう かずゆき) ● 兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科修了。博士(学校教育学)。幼稚園教諭・園長、兵庫短期大学部助教授、就実大学教育学部教授、岡山県立大学保健福祉学部教授を経て、2019年4月より佛教大学教育学部教授、岡山県立大学名誉教授。2020年4月より佛教大学附属幼稚園園長。保育現場におけるフィールドワークを中心に、保育者の働き方改革と保育の質の関係、保育のマネジメントについて研究する。また、「孤育て」を解消するために父親等の育児参加を含めた各種施策、ワンオペ育児、スマホ育児が子どもの育ちにどのような影響を与えるのかについても調査している。

がある。幼児教育学科が独立し専門の先生方が増え、より幅広い学問展開が可能になります。

附属幼稚園との連携で知識と実践のバランスを

柏 ● 学科としては知識と実践のバランスを大切にしたい。大学ですから理論的な学習が重要ですが、附属幼稚園で現場の先生方と学べることは強みです。早い段階からボランティアや実習の機会を与えていただき、理論的に学んだことを



村上 真理子(むらかみ まりこ) ● 佛教大学文学部教育学部卒業。1992年入職。2016年から佛教大学附属幼稚園副園長。「日本保育学会」「日本乳幼児教育学会」「中国四国教育学会」に所属し、現場と理論の往還をめざしている。現在、「幼児の主体性」に興味を持ち、「幼児が自発的に取り組むための保育者の援助の在り方」について、調査・研究をしている。

現場で子どもたちと触れ合いながら確かめる。佛大は教員と学生の距離が近く、丁寧な指導ができるようがあります。

佐藤 ● ①理論的な知識が、実践的な知識と相互補

完することで理解が深まる
②保育現場や福祉施設、小学校やカウンセラーなど、現場の経験豊富な先生方が多く、現場の話が伝わりやすい
③附属幼稚園や地域の幼児教育施設としっかり

連携が取れている——この三つが幼児教育学科の柱ですね。

村上 ● 学生さんが前向きですね。「けんかへの関わり方はあれでよかったのか」などと振り返っている。教科書で学んだことを、「ああ、こういうことなのか」と自ら感じ、考える中で、改めて学んでいるように思えます。

佐藤 ● ボランティアに行った1年生が子ども2人に「こっちに来て、来て」と両側から手を引っ張られました。その学生は大学に戻り、「そういうときは、どうすればよいのでしょうか」と先生に相談していた。幼稚園教諭のキャリアが長い先生が「正解はないけれど、こういう風に考えればよい」とすぐに応えてくださる。こんな学びができる附属幼稚園の存在は大きいですね。

柏 ● 教員は「とにかく子どもたちから学んでおいで」と、附属幼稚園に学生を送り出します。しかし「送りっぱなし」ではなく、「今後の実習に向け、もう一度私たちが育てる」という覚悟がある。大学と附属幼稚園が互いを大事に思いながら連携しているのです。

科に対する強い期待を感じています。

柏 ● 学生たちは佛教大学に入学したことを誇らしく思い、学びに前向きですね。疑問があればきちんと質問し、解消しようとする。しっかり育て、社会に送り出す責任を感じています。

豊富なネットワークで就職を支援

佐藤 ● 学生数も増えますが、4年後の進路対策はどうですか。

柏 ● 幼児教育コースに

は50年の歴史があります。今も現場とつながりが深い先生方が多く、自治体の採用試験などで、どの時期に何を整えるべきか熟知している。進路に即した指導が可能となっています。

佐藤 ● 村上先生も佛教大学教育学科のご出身ですが、先輩たちに何を期待しますか。

村上 ● 現場で子どもたちと関わっていると、実際にはうまくいくことばかりではありません。間違いや迷いもある。失敗もプラスの力に変え、しなやかに立

ち上がる。そんな人なら現場で何が起きても前向きに対応できます。私自身も佛教大学で学んだことを誇りに思っています。多様な角度から教育を学べることで、現場にネットワークを持つことで幅広い学びを得ました。フィールドワークやサークル活動の経験は、子どもたちだけでなく保護者や地域と関わるうえでも生きています。

ても心強い。どんな学生に幼児教育学科に来てほしいですか。

柏 ● 何はさておき「幼稚園や保育現場で仕事をした」「子どもが好き」という人です。保育はチームで行う仕事ですので、目標に向かって力を合わせる協調性と、主体的に学ぶ意欲、失敗してもリトライする向上心を持ってほしいですね。

佐藤 ● 保育職を目指すうえで中学・高校時代、大学入試前にやっておくべきことはありますか。

村上 ● 心が動く経験をたくさん積んでほしい。部活でも、なんでもいい。やりたいことを見つけ、夢中になってもらいたい。人と関わることに喜びを抱いて大学に入ってくださればうれしいです。



今日の授業

「プレゼン技術を磨く」

この日の授業は、プレゼンテーションのみ。ゼミ生全員が4グループに分かれ、デジタルホワイトボードを使って発表を行った。このゼミでは、事前に「内容、発音、協調性、みやすさ・インパクト」という評価項目が楊先生から明示されている。授業前に集まった学生はグループごとにパソコンを使って最後の調整に余念がない。出席を取った後、先生から進行について簡単な説明を受け、プレゼンテーションが始まった。語る内容は全て中国語。グループのメンバー全員がスピーチを分担する。紙の台本を片手に話す学生もいれば、スマートフォンの画面を見ながら話す学生もいる。普段は活発な学生たちも、みんなの前で語る時には緊張気味だ。一つのプレゼン

た内容について発表した。それぞれのテーマは「京都の名所について」「京都一日の旅プラン」「大谷翔平について」「北京について」。一つ一つの発表が終わると、先生による質疑応答がある。



「言いたい慣れない地名や施設の名前が多くて大変でしたね」とねぎらったうえで、「年代順に話してはどうか、地図を示してはどうか」など具体的にアドバイスする。また、大谷翔平選手を



テーションが終わるごとに、先生との質疑応答がある。先生は学生の発言を否定せず、笑顔を絶やさずアドバイスする。すべての発表が終了した後は相互評価を行い、各グループで「今日の優秀発表」を選び、最終的に最優秀賞を決める。ゼミ生の王文静さんは「先生の授業はいつもユーモアたっぷり、クラスの雰囲気はいつもなごやかです。私は中国人ですが、実は標準語の中国語は大学に入ってから勉強しました。今では家族に中国語が綺麗だと褒められます」と話してくれた。樽谷青依さんは「授業で発表の練習をするようになって、長い文章も読み書きできるようになりました。また、四声をしっかり意識して発声するようになって、中国語の力が伸びたように思います」と笑顔で答えた。

かったと言うと、先生は「言い慣れない地名や施設の名前が多くて大変でしたね」とねぎらったうえで、「年代順に話してはどうか、地図を示してはどうか」など具体的にアドバイスする。また、大谷翔平選手を

取り上げたグループには「キーワードはやはり『二刀流』。この言葉はしっかり発音しましょう。それから、プレゼンの流れや構成を考えて、大谷選手以前にメジャーリーグで活躍した日本人選手との違いが伝わるようにしてみてください。全ての学生が役割を終え、最後の優秀グループが選ばれた後は「プレゼンテーションは中身も大事だが、聞いてもらうためにはユーモアも大事。楽しんでもらえるように工夫しましょう。言葉だけでなく、画像を使って明るい話にしてもいいですよ」という言葉でゼミを

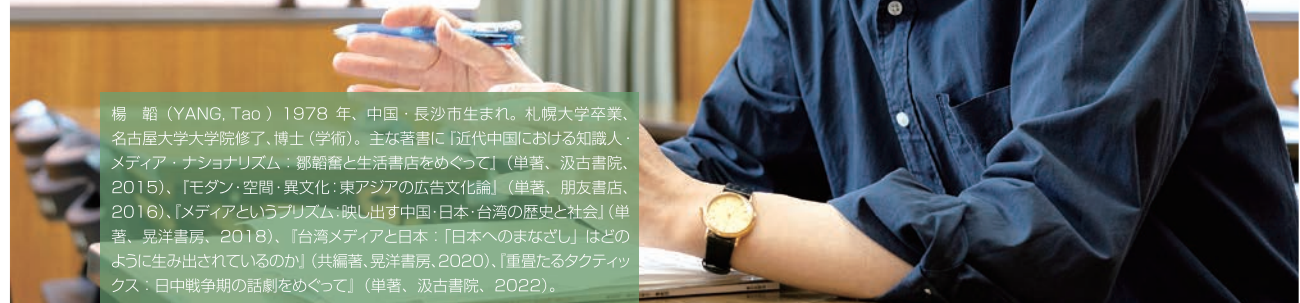
「互いに刺激あって成長して欲しい」と語る楊先生。今の時点では、取り上げるテーマは自由であり、必ずしも中国に関するものである必要はない。事前のアドバイスはせず、学生のやりたい、話したいという気持ちを大切にしている。その代わりにパワーポイントのスライドを事前に提出してもらって内容を把握し、発表後に丁寧にコメントしていく。

「自分が主役となり、しっかり考えを伝えよう」 中国語で自由にテーマを語る体験

文学部 中国学科 准教授

楊 韜

楊 韜 (YANG, Tao) 1978年、中国・長沙市生まれ。札幌大学卒業、名古屋大学大学院修了、博士(学術)。主な著書に「近代中国における知識人・メディア・ナショナリズム：鄒韜奮と生活書店をめぐる」(単著、汲古書院、2015)、「モダン・空間・異文化：東アジアの広告文化論」(単著、朋友書店、2016)、「メディアというプリズム：映し出す中国・日本・台湾の歴史と社会」(単著、晃洋書房、2018)、「台湾メディアと日本：「日本へのまなざし」はどのように生み出されているのか」(共編著、晃洋書房、2020)、「重畳たるタクティクス：日中戦争期の話劇をめぐる」(単著、汲古書院、2022)。



楊韜先生の「中国学科発展ゼミHa」は、中国学科の2年生が中級レベルの語学力と研究推進力の獲得を目指して課題に取り組んでいる。1年生の間に中国語の基礎を身につけた学生たちは、自由なテーマによる中国語プレゼンテーションを通じて実力を磨き、3年生以降の専門的な学びに備えている。

中国学科の学生たちは3年生以降、「中国語コミュニケーション系」と「文献系の二つのコースに分かれて研究に取り組む。前者は中国語の実践的運用能力を磨くこと、後者は中国の古典文学、現代文学、あるいは哲学思想などを学ぶことを目的とする。楊先生の担当はコミュニケーション系。この系統を選んだ学生は、卒業研究として中国語で論文を書き、発表を行うことになる。その前段階として、2年生の「発展ゼミ」で基礎的なプレゼンテー

ションのトレーニングを行っている。具体的な授業の目標としては、まず1年次で身につけた初級中国語のレベルを中級まで引き上げ、中国語を使ったコミュニケーション力の向上を目指す。それとともに、自分で調査し、表現する力を伸ばすことが求められる。ゼミ活動を通じて少しずつ中国の文化、歴史を学んでいくのも特徴だ。

授業が始まってまず驚かされたのは、仲間の発表を聞く時の学生たちの熱心な態度である。人前で順番に話すとなると、とかく自分のことばかりが気になって、他人の発表には気もそぞろになりがちだが、彼らは一生懸命に聞く。もちろんその態度は学生たちの熱心さの表れだが、楊先生の工夫も一役買っている。ゼミ仲間のスピーチをしっかりと聞き、いいところを観察してもらうために、全グループが終了した後、その日一番よかったチームを選



ぶことを学生たちに課しているのだ。「互いに刺激あって成長して欲しい」と語る楊先生。今の時点では、取り上げるテーマは自由であり、必ずしも中国に関するものである必要はない。事前のアドバイスはせず、学生のやりたい、話したいという気持ちを大切にしている。その代わりにパワーポイントのスライドを事前に提出してもらって内容を把握し、発表後に丁寧にコメントしていく。



佛大生記者が書く！

佛大BUTSUDAIなうNOW!

INTERNSHIP

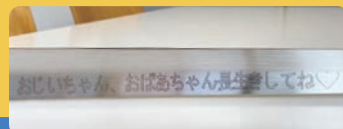
インターンシップとは

インターンシップとは「学生が在学中に、自らの専攻、将来のキャリアに関連した就業体験を行うこと」と定義されます。企業などが学生に就業体験の場と機会を提供し、そこに学生が参加して、リアルな就業体験、社会人経験をすることです。

昨今、新型コロナウイルスの影響をきっかけに、オンラインで実施されるケースも増えています。いずれにしても実際の社会へ出るまでに就業体験ができる貴重な機会です。

提案した「靴べら」が商品化!

株式会社西田製作所からの課題「より身近なもので自社商品を開発しようとした場合どのような物を考えますか?」に取り組み、提案した「妊婦さんをメインターゲットにした靴べら」のアイデアが採用され商品化が決定しました。素材に西田製作所が取り扱うステンレスを使用し一定の負荷にも耐えられる逸品です。さらに、好きな文字が彫れるサービスで、オンリーワンの靴べらとなり、贈答用としてもお勧めです。現在、西田製作所のネットショップ「BASE」で販売中です。



好きな文字を入れることができます!

ご注文・お問い合わせは西田製作所 BASEへ
<https://kyotonfactor.base.shop/>



事後研修

9月~10月

● グループディスカッション
● 課題実践研修の振り返り
● 個人発表(成果報告)

課題実践研修の振り返りと自身のフィードバックを兼ねた授業です。多くの成長に気づき、今後の目標設定にも役立ちました。

自身の活動をフィードバック

この課題実践研修では、「期限内に世間の関心を捉えた企画を提示し、かつ採算性が見込めるか」という「社会人」としての姿勢を体感できました。



Goal !!!

Practice makes perfect !!

先生からの一言

学生支援機構長・歴史学部歴史文化学科 齊藤利彦 教授

コロナ禍のなか、インターンシップは課題実践型での開催となりましたが、学生のみなさんの企画力・リサーチ力・プレゼンテーション力の巧みに驚きました。さまざまな企画が評価されるなか、今回、西田製作所におけるインターンシップの学習成果が〈靴べら〉開発につながりました。このことは、本学にとって画期的であると考えています。

インターンシップ科目受講生のみなさんには、受講で得た力を、今後、存分に発揮してもらいたいと思っています。



課題実践研修

8月

企業と取り組むグループワーク

- 担当企業決定
- 企業担当者と共にグループワーク
- プレゼンテーション資料(パワーポイント)作成
- グループごとの発表

5日間の課題実践研修は、グループごとに担当企業から出される課題に取り組みます。企業担当者の方に教えていただきながら社会人になったつもりで取り組むグループワークでは、メンバーと協力する楽しさや意見が相違する大変さを経験しました。

私のグループの課題は「自社商品開発」でした。単に新しい商品を企画するだけではなく、製材のこと、製材の加工工程のこと、コストについてなど、考慮しなければならぬことが多く、新商品開発の大変さを実感しました。グループでは、SDGsを意識し、妊婦さんに向けて、かがまなくても使いやすいよう配慮した形状の「靴べら」を提案しました。



On your mark !



Seize the moment!



就職活動への意識が変わる一般インターンシップ研修!

「社会」を知る、「社会人」を知る

事前研修

事前研修

6月~7月

- スーツ着こなしセミナー
- 自己分析研修
- ビジネスマナー研修
- 業界・企業研究研修

事前研修は、スーツの着こなし、ビジネスマナー、業界・企業研究の仕方などの「社会」や「社会人」の基礎的な理解を深めていく授業です。ぼんやりとしていた就職活動に関する知識がしっかりと得られました。

なうな掌話その二十七

ひとつ上の社会人基礎力を身につけよう!

佛教大学では、教育課程の全学共通科目群キャリア科目に「インターンシップ」(2単位)があります。授業は、事前研修や事後研修で社会人としてのマナーの習得、インターンシップ目標設定、成果報告などを行います。以前は、研修先(企業・団体など)で10日間の実務体験を行っていましたが、コロナ禍のため、2021年度は企業に出向く実務体験は行わず、大学内で各企業の課題に取り組む課題実践研修を行っています。企業のご協力・ご指導のもと、学生たちは仕事に対する意識を高めたり、主体的に行動する力を養っています。



編集後記

課題の中で提案した「靴べら」が商品化され、とても嬉しく思います。商品化して下さった西田製作所様に感謝申し上げます。私は、この研修を通して、周りを思いやる気持ちの重要性に気づきました。卒業後は社会人として思いやりの気持ちを大切に頑張っていきたいと思っています。

(歴史学部歴史学科4年生 伊崎真央)

B-ism

2022 July

「当時の人たちの知識のあり方が知りたい」 中世日本の歴史書や寺院の蔵書を研究



仏教学部 仏教学科 准教授 三好俊徳

三好俊徳先生は、主に日本中世の歴史書の研究や、寺院の蔵書の調査研究に取り組む。特に仏教に関する歴史が書かれた本に関心を持ち、それらを文学作品と捉えることによって当時の人たちの歴史認識を読み解こうとしている。



歴史書を文学作品として捉える

歴史書を文学作品として捉えるとは、どういうことだろうか。

「歴史書というと、現代の感覚では『事実と考えられることが書かれている』ものですよね。しかし、日本中世の歴史書には不思議

な話が含まれているものもあります。我々が当時の人たちでは、歴史あるいは現実に対しての感覚がちょっと違ったようですよ。そういうことが分かってくるのが面白いですね」。三好先生はそう説明する。

例えば、天皇の事績や政治的な出来事には含まれて「仏が現れてくれた」という話がさらっと入ってくる。現代の歴史の教科書ではありえない内容だが、当時はそのような不思議な話も歴史の一部として語られていた。そのようなことから、現代とは異なる思考体系の一部がみえてくると思う。

『扶桑略記』と『仏法伝来次第』とで異なる論争の結末

現在、院政期に成立した『扶桑略記』を中心に研究をしている。『扶桑略記』は、神武天皇から院政期の堀河天皇に至るまで73代の日本の歴史が編年体で記された歴史書で、仏教に関する記事も多く含まれる。作者は

を引用しているはずの『仏教伝来次第』では逆に法相宗が勝ったことになっているのだ。

なぜ書き換えられたのだろう。『仏教伝来次第』は、法相宗興福寺で作成されたと考えられます。院政期には、寺院間で教義などを巡る争いがたびたび起こっていたのですが、興福寺と天台宗の延暦寺との争いでは、よくこの応和の宗論が話題となり、そこで『うち

方にとって必ず歴史書に記さなければいけない重要な法会であり、その結末についても譲れなかったと考えられるのです」

1万5000点の蔵書を有す 大須文庫を調査研究

三好先生はさらに、名古屋大学を中心とする研究グループの一員として、名古屋市の大須観音の蔵書（大須文庫）の調査にも長く関わっている。

中世の寺は現代の大学のような存在で、多くの僧侶が学びに来ていた。大須文庫は中世の写本を中心と

して約1万5000点の蔵書を有し、そのなかには歴史書も複数点含まれている。調査では、1点ずつ調書を作成して大きさや奥書などを記し、研究の資料とする。

奥書には、いつ誰がその本を書いたのか、または写したのかを記録されている。二冊の本がいろいろ

な寺を歩きまわったり、いろいろな人に求められ写されたりしていることが分かります。本を写す許しをもらう

際には、親密な関係があったり、法流を受けていたりする必要があったようですよ。そのため、奥書は寺同

士の関係性を知る手がかりになります」

これらの調査から、全国的な寺院のネットワークの一端を垣間見ることができ

る。大須文庫には、仏教書だけでなく歴史書や説話に関する本、さらには

神道に関する本も多くある。僧侶は神道も学んでいたらしい。本には線や印、ルビなどが書き入れられたものもある。「当時の僧侶がこれらの本を読んで学んでいたことが分かります。当時の人の息づかいが感じられますね」



と出会ったことが、今の研究に進んだきっかけとなった。

「本を読んで、難しいけれど面白そうな世界だと思いい、大学院に進むことにしました。大学は国際学部に進んでいましたが、具体的なものを触ったり読んだりする研究をしたかった。

と想像していた時の出会いだっ

「さらに研究の視野を広げたい」

今後の目標の一つは、大須文庫の調査に参加し続け、その成果を蔵書全体の目録作成に結実させること。もう一つは、歴史書の研究でさらに視野を広げ、比較研究をする

「まずは、さまざまな歴史書と『扶桑略記』を比較し、歴史観の違いを明らかにできたら面白いと思います」



三好 俊徳(みよし としのり)

福井県出身。明治学院大学国際学部卒業、名古屋大学大学院文学研究科博士課程後期課程単位取得退学。博士(文学)。名古屋大学大学院人文学研究科研究員を経て、2021年4月から現職。研究テーマは、中世寺院における歴史叙述についての研究、日本の中世寺院の蔵書体系についての研究、宗論・相論についての文化史的研究。最近の出版物に「アーカイブとしての『扶桑略記』」(近本謙介編「ことば・ほとけ・図像の交響 法会・儀礼とアーカイブ」勉誠社、2022年)、「中世寺院の蔵書における歴史書の位相—大須文庫を例として」(木俣元一・近本謙介編「宗教遺産テキスト学の創成」勉誠出版、2022年)、「『扶桑略記』の研究史と今後の可能性」(『扶桑略記』と仏教—戒関係記事に注目して) (扶桑略記を読む会編『扶桑略記』の研究』新典社、2021年)などがある。

「たくさん本を読んでください」

三好先生は、学生に「たくさん本を読んでください」とメッセージを送る。先生自身、後に大学院で指導教員となる先生の著書



中西さやか(なかにし さやか)

京都府生まれ。広島大学大学院教育学研究科博士課程後期修了。博士(教育学)。専門は、保育学。2013年度日本保育学会研究奨励賞(発表部門)受賞。主な論文に「ドイツにおける幼児期の学びのプロセスの質をめぐる議論」(2016年)、「[子どもの側]から乳幼児期の学びを読み解く視点とは—Bildung(ビルドゥング)概念を手がかりとして」(2021年)など。

先生のお気に入り favorite

第二十二回
社会福祉学部 社会福祉学科 准教授
中西さやか先生の巻



身体が緩む心地良さを日々体感 内面の良さ引き出し 治療力向上

日々の体調に合わせてお灸をしています。じんわりとした温かさに包まれながらひと息つのが日課となっています。授業中は気を張っているの、一日が終わると体の色んなところがカチカチに固まっています。そんな時、お灸を使うとこわばった体が緩んで、いいですよ。

お灸は20代の頃に鍼灸の特集記事を読んだことから興味を持っていました。北海道で暮らしていた7、8年前、体の不調が続く、勇気を出して鍼灸院に行ってみました。鍼灸の先生からお灸を通じたセルフケアを勧められ、手軽にできる市販のお灸「せんねん灸」をもらい、そこから少しずつ試しました。しかし、3年ほど前(佛大に着任する少し前)に体調を崩し、初めて入院することに。締め切りが迫った仕事があったため、毎日遅くまで研究室で頑張っていました。睡眠時間を削り、食生活も乱れていました。体調を崩したのは、こんな



生活習慣が原因だったと反省しました。京都に戻った機会に根本から変えようとして、お灸にもより真剣に取り組むようになりました。ツボにお灸を据えようと、体全体がじんわり温もり、お風呂に浸るような心地よさになります。いつも体が重く、気分も落ち込みがちだったのが、お灸によって、だいぶなだらかになってきたと実感しています。私には合っているんでしょうね。最近のお灸は台座やシールが付いていて扱いやすく、アロマの香り付きやおしゃれなデザインのものも増えていて、選ぶ楽しみもあります。手が届きにくいツボに当てる棒灸の器具などもあるんですよ。

大事なのはその場限りの対症療法でなく、自分の治す力を高めていくことだと思えます。私の専門は「自分らしさを発揮して生きていくための教育」がテーマで、広い意味で考え方が通底しているように思えます。だからお灸が好きなのではないでしょうか。お灸に興味を持つ皆さんとぜひお話ししてみたいと思います。

B-ism

2022 July



優秀選手賞に輝いた今川投手



第43回全日本大学軟式野球選手権大会の戦績

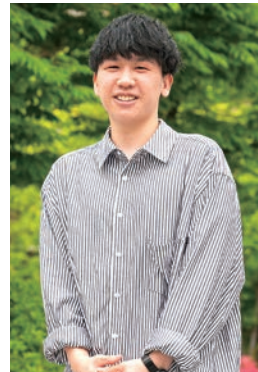
2回戦	4-2	岩手大(奥羽)
準々決勝	3-1	城西国際大観光学部(東関東)
準決勝	2-1	日本体育大(東部)
決勝	0-5	法政大(東京六)

■表彰選手 優秀選手賞
今川 海斗
(社会学部現代社会学科2年生(当時))

本学軟式野球部が2021年11月に開催された第43回全日本大学軟式野球選手権大会で準優勝に輝きました。大会は、北海道から沖縄県までの全国23連盟の代表23チームによるトーナメント戦。本学は近畿連盟代表として出場しました。2回戦、準々決勝、準決勝はそれぞれ接戦を制し決勝へ。決勝戦は法政大学に敗れましたが、2001年以来となる20年ぶりの快挙を成し遂げました。3試合に登板した今川海斗投手が計15三振を奪う力投を見せ、優秀選手賞を受賞しました。これからもチーム一丸となって頑張ります。皆さんの応援をよろしくお願いいたします。

軟式野球部 学生自ら考えた練習と戦略 20年ぶりの全国大会準優勝に結実

社会学部現代社会学科4年生
川合一朗さん



活動日：月曜、水曜、木曜
活動場所：岩倉グラウンド

軟式野球部は2021年に創部40年を迎えた歴史あるクラブです。私たちが迎えたラッキーなことに野球経験者のメンバーが揃ったため、「全国制覇」を目標にして日々練習してきました。軟式野球は、ボールが軟らかいだけにバウンドが変化したり、打撃も芯をとらえないとポップフライになりやすかったり。その難しさも、だからこそその面白さがあります。圧倒的なスピードやパワーを要する硬式野球とは異なり、少し肩の力を抜いて楽しめるのも魅力のひとつです。



チームづくりは学生主体です。今後も全国大会出場を目指すなど、勝負にこだわりのも大切ですが、佛大軟式野球の伝統であるスポーツマンシップ精神は守り継いでほしいと思います。

軟式野球部は2021年に創部40年を迎えた歴史あるクラブです。私たちが迎えたラッキーなことに野球経験者のメンバーが揃ったため、「全国制覇」を目標にして日々練習してきました。軟式野球は、ボールが軟らかいだけにバウンドが変化したり、打撃も芯をとらえないとポップフライになりやすかったり。その難しさも、だからこそその面白さがあります。圧倒的なスピードやパワーを要する硬式野球とは異なり、少し肩の力を抜いて楽しめるのも魅力のひとつです。

メンバーに相談したり、意見を取り入れながら、キャプテンが練習メニューや戦略を決めます。苦労したのは、コロナ禍に入学した下級生のモチベーションを上げること。練習もままならず、試合もない状況でしたから野球を楽しむ状況がありませんでした。しかし、これまで一回だった全国大会が夏秋2回開催となり、よりチャンス到来。勝ち進めばみんなもついてきてくれるし、絆も深まるはずと頭を切り替え、チーム一丸となり奮起しました。第1回全日本大学軟式野球選手権大会SUMMERCUP2021(前身は東西選手権)は2回戦敗退という結果に。敗因はエラーの多さです。これまで打ち勝ってきたチームですから守備力の弱さが出てしまいました。第43回大会に向けて守備の精度を上げる練習を取り入れ、大会に臨みました。決勝戦は完封負けしたが個人的にとても悔しかったけれど、この好成績で十分満足というメンバーも多かったですね。何せ全国大会準優勝は20年ぶりの快挙ですから。

Hello!!

クラブ・サークル 見聞録

特別篇

Special

彼は

「やさしい監督」「楽しいメンバー」「こだわりの活動内容や伝統」など、佛大大学のクラブ、サークルといった課外活動団体の彼は(あれこれ)を部員が自ら紹介、語ってくれます。

OB OG 訪問

Listen UP

忙しい仕事の合間の学び直しが、 刺激や息抜きに

高知県立坂本龍馬記念館 学芸課長

前田 由紀枝さん

佛教大学 通信教育課程
文学部 人文学科日本史コース卒業



前田 由紀枝(まえだ ゆきえ)
高知市生まれ。神戸学院女子短期大学文芸科卒業後、朝日新聞高知支局勤務や公立中学校教員を経て、2004年に高知県立坂本龍馬記念館主任(学芸員)。14年から学芸課長を務める。在職中の06年、佛教大学通信教育課程文学部人文学科日本史コースに3年次編入学し、12年に卒業した。卒業論文の題目は「家族の肖像～坂本龍馬をめぐる子孫たちの物語～」。

坂本龍馬記念館在職中に佛教大学へ
高知県立坂本龍馬記念館の学芸課長を務める前田由紀枝さんは、同館で働き始めて2年後の2006年、佛教大学の通信教育課程3年次に編入学した。佛教大学を選んだ一番の理由は、幕末史が専門の青山忠正先生が在籍していたためだ。
「記念館の仕事は、非常に尊敬していた方に誘われて、面白いかなという気持ちがあったのでお受けしました。しかし、日本史が専門だったわけではなく、一度キチンと学びたいという思いを持っていました」
坂本龍馬は全国的に名前が知られ、高知にとっては身近な存在。ファン層は広く、厚い。その人物を検証し、発表していかなくてはならない。誘いを受けた時も「勉強な自分がやっていたらどうか」と不安を抱いていたという。



「龍馬は興味深い人物」
前田さんにとって、坂本龍馬はどんな人物なのだろうか。「面白い人ですね。非常に多面的で、興味深い。死後150年」
最後に、佛教大学の後輩へのメッセージをいただいた。「くじけそうになっても諦めはいけません。学問に終わりはありません。学び舎をベースにして、自分自身の人生を切り開いていくことはとても重要なことだと思えます。」

B-ism

2022
July

写真 = ご本人提供



大学院 社会学研究科 社会学専攻修士課程 2年生
大木 倫太郎さん

防災サークル参加をきっかけに、地域の消防団にも入団
「新しい発見や学びがあります」。佛教大学生生活6年目のいまもそう感じられる充足感があるという大木倫太郎さん。入学当初こそ、高校までの授業スタイルや試験内容の違いに戸惑いがあったものの、徐々に学問の楽しさに気づき、もっと追究したいとの思いで大学院に進学した。
現在、日々の活動の中心となっているのひとつに、佛教大学FAST及び消防団がある。FASTとは「Fire And Safety Team」の略。2014年、京都府公認の学生消防防災サークルネットワーク「京都学生FAST」が発足する。地域の消防団の若手団員が不足するなか、将来の地域防災人材として大学生を育成することを目的したもので、佛教大学FASTも同時に立ち上げられた(現在18大学が参加)。「入学後に偶然再会した幼なじみに誘われて。何かサークルに入るつもりだったが、友だちもできるかなと軽い気持ちでした。楽只(がし)学区の消防団の防犯パトロールに参加し、1年生秋に消防団にも入団。いつ起きるかわからない災害時に備える防災・減災のためのノウハウ、幅広い年齢の消防団員の方々との交流などの知識や経験が得られることが魅力だった。「ただ、当時佛教大学FASTは50人くらい在籍していたのですが、自由参加なこともあり、月



1回の定例会議に出席するのは2割以下。私もその一人で、消防団としての防犯パトロール活動に重点を置いていました」
納得・理解できるまで、学びの姿勢は持ち続けたい
意識変革のきっかけは、当時の代表から実動人数の少なさを相談を受けたこと。参加を募るサポートをするうちに、将来的な活動継続の危機感と使命感に駆られ、代表を引き継ぐことに。4月の紫雲祭で2年連続紹介ブースを設置し、新入生へ広報活動をした結果、「昨年と今年で新メンバーが約15名増えました」。コロナ禍で活動範囲は大幅に縮小したが、5月に今年初の対面式定例会議と併せて、災害備蓄品見学や防犯パトロールが実現した。
昨年9月には、構想から完成まで約半年かけて、田中手帳が発行する、一般的な会話によるコミュニケーションが難しい方のための「防災用・救助用コミュニケーションブック」の防災監修を行った。「文章、絵記号やイラストなどわかりやすい表現を心がけ、使う側の視点に立って具体的な数で備蓄品を示すなど、メンバー同士で意見を出し合いました。水に濡れても文字が書けるよう工夫がされています」。冊子は京都府庁や京都学生FASTに共有、楽只消防分団を通じて高齢者施設などにも配布された。
学業の総仕上げも本格化。大学4年生時にコロナ禍となり、不完全燃焼を解消すべく不転の決意で大学院進学を決めた。研究テーマは「グローバル資本主義と日本の森林―森林保全の歴史と課題―」。佛教大学、三共精機、南丹市等が連携して実施するモデルフォレスト運動の取り組みを主軸にする予定だが、切望するフィールドワークが未だ叶わない。それでも、「なんとか納得のいく研究成果を出せたら」と前向きな姿勢を貫く。「将来は地域社会の役に立つ仕事に就きたいです。社会人になっても発見と学びを重ねていきたいし、その気持ちは大切に持ち続けたいですね。物事を深掘りし、自分なりに理解したうえで、言動には説得力が生まれると思っています」



年以上たっているのに、こんなにも多くの人に慕われている人は珍しいです。人生に行き詰まった若者が、龍馬像を前に「頑張って生きよう」と決意したという話も知っています」と語る。

高知から夜行バスでスクーリングに通う
社会人学生の生活が始まったものの、記念館がさまざまな企画展や新しい事業を実施した慌ただしい時期に重なり、特に最初の2年間はスクーリングに行くだけで精いっぱいだった。「仕事を終えて夜行バスに乗り、朝7時に京都に着いて9時からの授業を受け、夕方またバスに乗って夜中に帰宅。そして、次の日も仕事でした。ひどいときは、帰宅した翌日から1週間の出張ということもありました」と振り返る。
大学で先生の話や聞き、学校の雰囲気や味わう時間は息抜きになり、若い友達との交流で刺激も受けた。「振り返ってみると、私が学び直した年代は、人生の過渡期だったと思います。その時に大学生になり、多忙を極めた状況でも大学を離れなかったことは自分の身の自信になりましたし、学ぶ姿勢や人生の姿勢につながったと思います」

前田さんは、龍馬だけでなく坂本一族の歴史も発信する。昨年12月〜今年4月、記念館で特別展「龍馬と北の大地」第2部「北海道で『龍馬』生きる」―

「面白くない人ですね。非常に多面的で、興味深い。死後1500

最後に、佛教大学の後輩へのメッセージをいただいた。「くじけそうになっても諦めはいけません。学問に終わりはありません。学び舎をベースにして、自分自身の人生を切り開いていくことはとても重要なことだと思えます。」

1 大野雄大選手 東京五輪金メダル報告会開催!

昨年12月、プロ野球中日ドラゴンズの大野雄大選手(2011年社会学部現代社会学科卒業)より、東京オリンピックでの金メダル獲得の報告を受けるにあたり、学長主催「大野雄大選手東京五輪金メダル報告会」を開催しました。放送局の学生が司会を担当し、硬式野球部マネージャーによるアナウンスで入場した大野選手。伊藤真宏学長から花束とお祝いの言葉が贈られたのち、大野選手からは、東京五輪を振り返るとともに、学生たちに「ここでやりたいことを見つけ、好きな道にすすんでほしい」とエールをい



大野選手の直筆サイン色紙をプレゼント! 詳しくは、p.22

2 硬式野球部 全日本大学野球選手権大会でベスト4!

硬式野球部は、全日本大学野球選手権大会(6月6日~12日・明治神宮野球場)に出場し、1回戦・東海大学(首都大学連盟)、2回戦・東海大学札幌(札幌学生連盟)に勝利し、準々決勝では2019年の決勝戦で敗れた明治大学(東京六大学連盟)と対戦、延長10回タイブレークを制して勝利しました。続く、準決勝で上武大学(関甲新学生連盟)に借しくも敗れましたが、ベスト4の成績を収めました。紫野キャンパスで行われたパブリックビューイングでは、学生たちが釘付けになって観戦し、京都から熱いエールを届けました。また、最優秀投手賞に山本奨人投手(社会福祉学部社会福祉学科3年生)が選ばれました。



3 入学宣誓式挙行

4月1日、令和4年度入学宣誓式を挙行しました。新入生代表が入学宣誓を行い、伊藤真宏学長より告辞が述べられ、田中典彦理事長にご祝辞をいただきました。学部・研究科別に3部制で行い、鷹陵館メインホールにて執り行う式典の様子を新入生は各教室で視聴しました。



6 卓球部男子 関西学生卓球春季リーグ戦1部昇格!

関西学生卓球春季リーグ戦に出場した卓球部男子が、4勝1敗で2部優勝を果たし、5月15日に開催された入替戦において、京都産業大学に勝利し、男子では創部初の1部昇格を果たしました。



4 第32回紫櫻祭開催!

4月7日~15日、第32回となる新入生歓迎イベント「紫櫻祭」を開催しました。課外活動団体のパフォーマンスや、豪華賞品が当たるウォークラリー、ニッポンの社長のお笑いライブなどが催されるなか、感染対策を施しながら、課外活動団体による勧誘が行われました。



5 ウクライナへの 人道支援募金活動を実施

ウクライナへの人道支援を目的として、学生・教職員が中心となり、支援金を集める活動を行いました。募金箱設置、銀行振込による募金活動のほか、鉢鉢やフリーマーケットを実施し、食堂・喫茶では、売上の一部が支援金になる特別メニューを販売しました。集まった支援金は、6月22日、日本赤十字社京都府支部へ寄付しました。皆様の温かいご支援、ご協力に感謝するとともに、一日も早い平和を祈念します。



7 「還愚×〇〇」 佛教大学ブランドサイトで公開中

佛教大学ブランドサイトでは、本学メインビジュアル「還愚―はじまりは、自分のなかにある。―」にちなみ「還愚×〇〇」と題して、さまざまな分野で活躍する佛教大学の関係者に、ご自身にとっての「還愚」を語っていただいています。今後、もコンテンツを追加していきますので、ぜひご覧ください。





学校優秀賞副賞の出張授業では、鹿児島県鹿島(こしきじま)列島の小学校にも行きました



第4回表彰式は、東日本大震災の影響により、夏に延期されました



表彰式で京都に来るのを楽しみに、毎年応募してくれた姉妹もいました



佛大生の演奏でお祝い

佛教大学 history 小学生俳句大賞 2007-2022 ヒストリー

2007年度からはじまった「佛教大学小学生俳句大賞」は、2022年度第15回をもって、惜しまれながらも最終回を迎えました。15年間の総応募数は、46万7884句！一つ一つの句の向こうで、子どもたちが言葉の楽しさを感じてくれたら嬉しく思います。

選考委員からのメッセージ

あらためてこの佛教大学小学生俳句大賞にかかわってくださった方々にお礼を申し上げます。句をとりまとめて応募してくれた各地の小学校の先生、予選を担当した方々、そして佛教大学の職員や学生のみなさん、ありがとうございます。もちろん、長く付き合ってきた選者の先生方にも感謝です。小学生が言葉に親しみ言葉を楽しむ機会、それが佛教大学小学生俳句大賞でしたが、その機会を15年も持てたことをちょっと誇らしく思っています。

坪内総典（選考委員代表・佛教大学名誉教授）



受賞者からのメッセージ

「クローバーピンクだったらいのいな」

第2回 低学年の部 入選 京都府 上村 春花さん 城陽市立寺田小学校3年(当時) 佛教大学社会学部現代社会学科 卒業生

クローバーも春に咲く花と同じように可愛いピンク色だったらな、と子供心に感じて句をつくりました。入選を母から聞いたときは、この俳句の他にも何句か送っていたので、どの俳句が入選したのかドキドキしていました。表彰式に行く予定だったのですが、習い事のコンクールと重なり参加できず悔しかったことを覚えています。佛大生になってからは校内で俳句大賞のポスターをみると、子どもの頃を思い出し、大人になったと振り返っていました。



約分は半そでの気分夏近し

愛媛県 伊方町立三初小学校6年 佐々木 瑞姫

海のように心がゆるるいわし雲

大阪府 吹田市立吉江台小学校3年 伊藤 仁那

最優秀賞 高学年の部

最優秀賞 低学年の部



第15回は、お祝いと感謝のメッセージを動画でお届けしました

第15回は、お祝いと感謝のメッセージを動画でお届けしました。今回は、「佛教大学小学生俳句大賞」の楽しさを体験してもらいたいとの願いから始まった「佛教大学小学生俳句大賞」。2万3003句(低学年の部7560句、高学年の部1万5443句)の作品を応募いただき、厳正な審査により選ばれた作品を発表いたします。

第15回 佛教大学 小学生俳句大賞 結果発表

小学生俳句大賞 検索 受賞された全作品はこちら!



雪うさぎ明日の朝も会えるかな

京都府 京都教育大学附属京都小中学校2年 井上 美玖

じいちゃんに「王手」せみが鳴いている

富山県 高岡市立伏木小学校2年 角村 昂瑠

秋の風みえないけれどあじがする

高知県 土佐市立高岡野小学校2年 久保 結

弟のえがおみたくて雪あつめ

滋賀県 守山市立物部小学校2年 塩塚 心々奈

ピーマンを切ったらなんとやばい顔

東京都 足立区立千寿本町小学校5年 小寺 夏生

信貴山の廃線の道秋の道

奈良県 三郷町立三郷北小学校5年 新田 和英

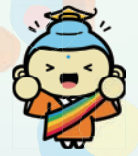
手を入れたらみつきそうなあげだ

高知県 日之影町立日之影小学校6年 飯干 蔵人

毛玉出る私のセーター今日も着る

和歌山県 田辺市立田辺東部小学校6年 岩本 穂乃佳

選考委員特別賞



やわらかな食パンがすすきの朝

東京都 江東区立第八砂小学校3年 香月 隼

箱の中座禅を組んだタラバガニ

愛媛県 宇和島市立岩松小学校6年 國松 仁

げっごはくはげきうつきのかくんぼ

徳島県 阿南市立今津小学校1年 秋田 健心

流れ星自由きままに二人旅

高知県 土佐市立高岡野小学校4年 和田 夏穂

ろてんぶろー一番星がこんばんは

兵庫県 愛徳学園小学校2年 森田 彩加

はこだての雪にまぎれたシマネナガ

青森県 弘前大学教育学部附属小学校6年 小坂 彩乃

ぼつちの夜白い友達ふつてきた

京都府 京都聖母学院小学校5年 金子 くるみ

月の下に本がありその下にほくがいてる

アフリカ系国 ミツシロ日本語補習校2年 リター 蓮太郎

たけこの皮で作ったマトリョーシカ

兵庫県 西宮市立五林小学校4年 藤白 百花

一ひきもこれないへんむらばつたり

愛知県 碧南市立蓮小1年 油谷 侑良

かじかむ手初めて使うリトマス紙

愛媛県 伊方町立九町小学校6年 穴戸 心花

学校優秀賞

京都府 京都文教短期大学付属小学校 兵庫県 姫路市立英賀保小学校 高知県 土佐市立高岡野小学校



これまでの 最優秀賞 受賞作品

●...低学年の部 ■...高学年の部

- 1回 ●しゃぼん玉木のそばに行き木としゃべる 大阪府 豊中市立桜塚小学校2年 山中 大樹
- 元日は朝からみんなわらって 兵庫県 伊丹市立福野小学校5年 高木 雅樹
- 2回 ●あまがえるときどきするよおうだん中 島根県 出雲市立高松小学校2年 谷口 優太
- 新雪に倒れて私がもう一人 京都府 与謝野町立加悦小学校6年 大垣 明日香


- 3回 ●ザリガニよでっかいハサミでかかってこい 兵庫県 伊丹市立瑞穂小学校3年 井田 実世
- 家族の足安心してるほりごたつ 広島県 世羅町立せらにし小学校6年 谷矢 奈美
- 4回 ●ゴーヤくつつのブランコるるん 京都府 京都市立常盤野小学校2年 伊藤 宙輝
- ハレンタインげんかん前でドッキドキ 京都府 宇治市立北小倉小学校4年 廣部 有紀
- 5回 ●ーりんしゃずっとのれませつ秋の空 鹿児島県 薩摩川内市立湯田小学校2年 鬼塚 雄大
- 夕焼けの少しさしみ「また明日」 兵庫県 南丹市立北富小学校5年 岸上 わか那

- 9回 ●たおれてる自てん車さえもねっちゃんしよう 京都府 立命館小学校2年 金田 怜子
- カマキリがジャングルジムにさかだち 石川県 白山市立北陽小学校4年 松下 莉子
- 10回 ●母のむくみかんの皮はこの足 富山県 高岡市立伏木小学校3年 山崎 真鈴
- つゆがつくおうちのまは自由帳 和歌山県 紀の川市立池田小学校6年 関本 恭悟
- 11回 ●ゆひさきでテントウムシは考える 愛知県 愛南町立家串小学校2年 吉田 優記
- 公園のブランコに雪がすわってる 石川県 白山市立北陽小学校4年 加戸 杏樹
- 12回 ●とり合いだバケツにはった丸ごおり 奈良県 三郷町立三郷北小学校3年 奥田 静流
- 「ありがとう」初めての手話秋の朝 三重県 伊賀市立立瀬小学校5年 森永 楓葉
- 13回 ●はがぬけてとうもろこしをためこんだ 三重県 伊賀市立立瀬小学校1年 葛原 楓
- 「ありがとう」初めての手話秋の朝 愛媛県 伊方町立九町小学校4年 穴戸 心花
- 14回 ●てぶくろをつけずにははるかえりみち 兵庫県 伊丹市立伊丹小学校1年 もとなが あつち
- 冬の朝ミナストローネはくたくさん 兵庫県 甲南小学校4年 橋本 千佳




B-ism 2022 July

重量たるタケチンクス
日中戦争期の話劇をめぐって




著／楊鶴(文学部 准教授)
汲古書院
2022年1月
定価(税込)8,800円

源氏物語 明白族物語論
形成の主題



著／神原勇介(文学部 講師)
新典社
2022年2月
定価(税込)10,230円

随東部密陽上林園翻經館沙門 釈彦珍の研究



著／齊藤隆信(仏教学部 特別任用教員(教授))
臨川書店
2022年1月
定価(税込)13,200円

BOOK Information 本

タイトル
本書の教員による
刊行物をご紹介します。


著者
出版社
出版日
価格

日本の鬼図鑑




著・監修／八木透(歴史学部 教授)
青幻舎
2021年12月
定価(税込)2,420円

講座 日本民俗学 社会と儀礼




分担執筆／八木透(歴史学部 教授)
朝倉書店
2021年12月
定価(税込)3,850円

岩波講座 世界歴史 第7巻 東アジアの展開 8〜14世紀




編集協力共著／宮澤知之(歴史学部 教授)、
分担執筆／山崎賢士(歴史学部 教授)
岩波書店
2022年4月
定価(税込)3,520円

小学校理科を教えるために知ってほしいこと
初等理科内容と指導法



共編著／平田豊誠(教育学部 准教授)
東洋館出版社
2022年2月
定価(税込)2,475円

授業づくりのための中等理科教育法
不易と流行のエッセンス




分担執筆／平田豊誠(教育学部 准教授)
ミネルヴァ書房
2022年2月
定価(税込)3,080円

世界歴史 03 外国語科の授業づくり




編著／赤沢真史(教育学部 准教授)
教育出版
2022年3月
定価(税込)2,420円

岩波講座 世界歴史 第3巻 ローマ帝国と西アジア前3〜7世紀




編集協力共著／南川高志(歴史学部 特別任用教員(教授))
岩波書店
2021年12月
定価(税込)3,520円

子どもアトピーと当事者参画のモヤモヤをこれから一歩一歩の声を大切に作る社会として



分担執筆／長瀬正子(社会福祉学部 准教授)
明石書店
2021年12月
定価(税込)2,420円

社会的孤立死する高齢者たち



共著／新井康友(社会福祉学部 准教授)
日本機関紙出版センター
2022年1月
定価(税込)1,430円

生涯学習支援の基礎




共著／内山淳子(教育学部 特別任用教員(准教授))
学文社
2022年2月
定価(税込)2,530円

コロナ禍で見えた保健医療介護の今後
〜新自由主義をこえて〜




著／長友薫輝(社会福祉学部 准教授)、
横山壽一(客員教授)
新日本出版社
2022年4月
定価(税込)2,640円

A-QOA活動の質評価法
ビギナーズガイド
21の観察視点と20の支援ポイント



共著／白井はる奈(保健医療技術学部 准教授)
クリエイティブかもがわ
2022年5月
定価(税込)3,080円

女子挺身隊 その記憶と真実(韓国語)



著／朴光駿(社会福祉学部 教授)
フライバル
2022年2月
定価25,000ウォン

2022年度 定年退職教員

仏教学部
本庄 良文(仏教学部仏教学科)
文学部
上野 辰義(文学部日本文学科)
歴史学部
小野田 俊蔵(歴史学部歴史文化学科)

2022年度 定年退職教員

教育学部
田中 耕治(教育学部教育学科)
社会福祉学部
横山 壽一(社会福祉学部社会福祉学科)
保健医療技術学部
河田 光博(保健医療技術学部理学療法学科)

文学部

Henry Foster(准教授)
英米学科
英語教育学、
応用言語学

仏教学部

大井 七(准教授)
中国学科
中国古典文学

神原 勇介(講師)
日本文学科
『源氏物語』を
中心とした平
安朝文学

齋藤 蒙光(准教授)
仏教学科
浄土学、法然浄
土教思想研究

教育学部

柏 まり(教授)
教育学科
2022.4.1～
幼児教育学科
幼児教育・保育

教員・職員

新規採用者紹介
教員は学科と専門を、職員は所属を表記
※特別任用教員は学科表記なし

NEW FACE

伊藤 翼(特別任用教員)
解析学、微分
方程式論

芦田 風馬(特別任用教員)
幼児の造形
教育

大塚 良一(特別任用教員)
社会福祉学

小林 みどり(教授)
幼児教育学科
幼児教育・保育

青木 好子(教授)
幼児教育学科
発達発達と健康、
応用健康科学、
障害者スポーツ

山内 乾史(教授)
教育学科
道徳教育論、教
育社会学、比較
教育学、高等教
育論

歴史学部

太田 智己(准教授)
歴史文化学科
文化史

Stephen Richmond(契約講師)
英米学科
異文化コミュ
ニケーション、
社会言語学、教
材・教授法開発

中田 克宜(助教)
理学療法学科
疼痛の理学療
法、運動器障
害系理学療法

奥山 紘平(助教)
理学療法学科
生活期リハビ
リテーション、
神経筋疾患

治郎丸 卓二(准教授)
理学療法学科
スポーツ健康
科学、神経筋制
御

小澤 一史(教授)
理学療法学科
解剖学、神経
内分泌学

長友 薫輝(准教授)
社会福祉学科
社会保障学、医
療・福祉政策
論、地域医療
論・地域福祉論

若林 靖永(教授)
公共政策学科
マーケティング、中小企
業論、起業、批判
的思考教育

柳下 実(講師)
現代社会学科
ジェンダーの
社会学

堀内 遼(特別任用教員)
数学

佐野 雅世(実習指導講師)
初等教育、図
書館教育

北澤 智(実習指導講師)
中学校教育、
学習指導、生
徒指導

安本 厚子(助教)
看護学科
老年看護学

野口 遼(助教)
看護学科
基礎看護学

大霜 由貴子(助教)
看護学科
慢性看護学

宇佐美 智美(助教)
看護学科
母性看護学

清水 奈穂美(准教授)
看護学科
在宅看護学

白井 壮(助教)
作業療法学科
作業療法(認知
症)

2022年度 新学部長

文学部
曾和義宏 教授(再任)
鶴岡光昌 教授(新任)
歴史学部
麓 慎一 教授(新任)

毛利 祥宏
進路支援部
教職支援課

小寺 香穂
生涯学習部
通信学務課

石坂 美想
入学部
入学課

荒木 美誉
生涯学習部
通信学生課

愛須 まひろ
管財部
情報システム課

山崎 悦子(実習指導講師)
初等教育、国語
教育、防災教育

2022年度 定年退職教員

日下 隆一(保健医療技術学部理学療法学科)
教職支援センター
尾上 和久(実習指導講師)
小林 昌人(実習指導講師)
藤井 恵(実習指導講師)



入試に関するお知らせ

オープンキャンパス

[日程]8月6日(土)、8月7日(日)、10月9日(日) [場所]紫野キャンパス・二条キャンパス(同時開催)

学校推薦型選抜(公募制)

試験日	試験会場
11月22日(火)・23日(水・祝)・24日(木)	京都(本学)・名古屋・津・彦根・舞鶴・大阪・神戸・奈良・和歌山・岡山 ※11月24日は京都(本学)、彦根、大阪のみ実施

*一般選抜(A日程)、一般選抜(B日程)の試験日等は、次号(No25)でお知らせします。

*各入試の出願期間、試験科目等詳細は本学ホームページ 佛科大学入試情報サイト「Find! web」をご覧ください。▶▶▶



お問い合わせ先：入学部

通信教育に関するお知らせ

2022年度後期入学志願受付期間

IV期: 8月21日(日)～ 8月31日(水)

*仕事や子育てなど、多忙で説明会に参加できない方へ! 本学の魅力や特色が分かる「オンライン入学説明特設サイト」公開中!

V期: 9月 1日(木)～ 9月30日(金)

詳しくはこちら▶▶▶



VI期:10月 1日(土)～10月15日(土)

お問い合わせ先：生涯学習部

研究活動

「研究活動報 manako」をご存じですか?



本学ホームページに「研究活動報 manako」と題して、本学教員の研究活動を発信しています。是非ご覧ください。



宗教文化ミュージアム

イベントカレンダー(2022年7月～12月)

宗教文化に関する有形・無形文化財の調査・資料収集および保存・公開、宗教文化情報の高度利用化などを行い、その成果を広く公開しています。

開館時間 10:00～17:30(※入館は17:00まで)
入館料 無料 休館日 ホームページ等でご確認ください

お問い合わせ先 宗教文化ミュージアム
〒616-8306 京都市右京区嵯峨広沢西裏町5-26
TEL:075(873)3115 FAX:075(873)3121



日時	内容
6月11日(土)～ 7月30日(土)	速報展「浄土宗を支えた版木 其ノ巻 一紙嘉・前田嘉右衛門が受け継ぐ」 ※日曜日休館
9月 1日(木)～ 9月30日(金)	平常展示「祈りと祀り、そして暮らし 一宗教文化研究への誘い」 ※日曜日・祝日休館
10月中旬～ 12月上旬	特別展「ほどけのドレスコード」(仮題) ※月曜日休館
11月(日時未定)	特別展開演講演会 タイトル未定
12月18日(日)	シアター上映会「六畜念仏の記録映像をみてみよう!」

*新型コロナウイルス感染拡大の状況により、内容変更や開催中止となる場合があります。最新の情報は当ミュージアムのホームページをご確認ください。

オープンラーニングセンター(O.L.C.)



公開講座受講生募集中!

1984年の開設以来、数多くの公開講座を提供してきた四条センターが、2021年4月、佛科大学紫野キャンパスに移転、オープンラーニングセンター(O.L.C.)として生まれ変わりました。ICTを活用し対面とオンラインを融合した新たな講義スタイルで展開し、いつでも、誰でも、どこからでも、あなたの「学び」の扉を開きます。

お問い合わせ先：オープンラーニングセンター



今号の巻頭鼎談は、佛科大学附属幼稚園で撮影しました。幼稚園の廊下では、カメが飼育されています。話を伺うと、その中の数匹は、近くの広沢池からやってきたカメが幼稚園の砂場で産卵、その時の子ガメだそうです。「ミドリちゃん」という名前のカメがいたので、ミドリガメかと思ったらクサガメでした(名前は毎年変わるそうです)。

鼎談のなかで、村上先生の「心が動く経験をたくさん積んでほしい」という言葉をお聞きして、カメを「かわいい」と思う気持ちを含めて、日常のなかの心の動きをもっと大切にしたいと感じました。

佛科大学広報課



B-ism

2022 July

B-information

みんなの掲示板

2022年 主な行事予定

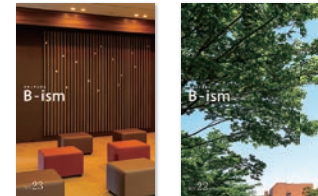
学校推薦型選抜(公募制)	Date 11 / 22 (Tue.) 23 (Wed.) 24 (Thu.)	第13回ホームカミングデー2022	Date 11 / 5 (Sat.)	第56回鷹陵祭(学園祭)	Date 11 / 3 (Thu.) 祝・4 (Fri.) 5 (Sat.)	創立記念式典	Date 10 / 22 (Sat.)	学位記・卒業・修了証書授与式(通学課程・通信教育課程)9月卒業・修了)	Date 9 / 25 (Sun.)
--------------	--------------------------------------------------	-------------------	-----------------------	--------------	-------------------------------------------------	--------	------------------------	-------------------------------------	-----------------------

佛科大学 公式SNS

公式 Facebook アカウント名: bukkyo.univ

公式 Twitter アカウント名: @bukkyo_univ

公式 Instagram アカウント名: bukkyouniversity



『B-ism』のバックナンバーが見られます

当誌『B-ism』は、佛科大学広報課が発行する広報誌です。佛科大学の「人・教育・研究」などをより多くの方々に知っていただく目的で、佛科大学の魅力伝えるべくさまざまな企画をお届けしています。これまで発行された『B-ism』は本学ホームページからも閲覧できます。

《アドレス》
https://www.bukkyo-u.ac.jp/about/activity/publicity/
トップページ ▶▶▶ 大学案内 ▶▶▶ 大学広報

読者アンケートのお願い

B-ismに関するアンケートにご協力いただいた方の中から、抽選で大野選手のサイン色紙、佛大オリジナルグッズをプレゼントいたします。以下、フォームよりご応募ください。

《応募フォーム》
https://www.bukkyo-u.ac.jp/about/activity/publicity/form/b-ism24.html ▶▶▶

※応募締切：2022年9月20日
※当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。

(2)陸上競技部・硬式野球部 キュービー2体セット 3名

(1)大野雄大選手 サイン色紙 1名

(6)佛科大学×綾傘鉦うちわ 10名

(5)佛科大学×綾傘鉦てぬぐい② 5名

(4)佛科大学×綾傘鉦てぬぐい① 5名

(3)佛科大学オリジナル水筒(ピンク/青) 各2名

Kyoto 京都市ふるさと納税 大学・学生のまち京都の推進

3月1日、本学は京都市と「ふるさと納税を活用した大学・学生と地域の連携強化に関する協定」を締結しました。これにより、京都市の寄付金活用事業の一環として、京都市へのふるさと納税申込時に寄付の使い道の中から『大学のまち京都・学生のまち京都』の推進 佛科大学応援メニューを選択いただくことができます。京都市を通していただいた寄付金は、地域貢献型の取り組み等に活用させていただきます。詳しくは京都市のホームページをご覧ください。